

課題番号	研究課題名	研究代表者	評価結果
18103003	現代日本の若年者の行動と意識の変容に関する総合的研究	石田 浩（東京大学・社会科学研究所・教授）	A

本研究は、教育・就業・結婚・意識をテーマに若者対象の大規模のパネル調査を実施することで、現代日本社会が抱える具体的な社会的課題に応えようとする有意義で意欲的な研究である。

研究進捗状況については、サンプルの抽出に予想以上に時間がかかったことを除けば、標本の回収率も比較的高く、データの分析においても着実に成果を上げつつある。研究組織も複数の研究分野の研究者の有機的連携が比較的うまくとれている。現状の進捗状況からみて、本研究は、当初設定した目標の達成に向けて順調に進展しているものと判断した。また、研究内容および研究成果の公表も、学術論文以外にも、プレスリリースなどを通じて積極的に行なわれている。現状の調査研究が継続的に展開されれば、期待通りの成果が十分見込めるものと認識している。

また、本研究では、収集した調査データをデータ・アーカイブ化し公開することで、データの共同利用に対して開かれた方向性を目指していることも評価できる。

さらに、研究代表者が所属する機関の独自資金により実施されている、壮年（35-40歳）を対象とした同様の調査研究の成果と比較検討することで、今後の社会調査研究における大きな知的インパクトを与える可能性を持つものと考えられる。